

6 重点的に取り組む施策

重点的に取り組むべき課題について**7分野(18項目)**を定め、現状と課題を整理し施策の方向を示すとともに、**30項目(再掲含む)の環境指標(数値目標)**を設定します。

重点① 物質循環 生活環境 自然環境 富士山及び周辺地域の良好な環境の保全

- (1)多様な自然環境の保全
- (2)優れた景観の保全
- (3)富士北麓の不法投棄対策の推進 **環境指標 5項目**

重点② 生活環境 自然環境 健全な森林・豊かな緑の保全

- (1)森林の多面的機能の発揮の促進
- (2)森林環境教育の推進
- (3)緑化の推進 **環境指標 3項目**
- (4)ふれあいの機会の提供

重点③ 生活環境 自然環境 持続可能な水循環社会づくり

- (1)健全な水循環の維持
- (2)水環境の保全
- (3)ふれあいの機会の提供 **環境指標 5項目**

重点④ 生活環境 自然環境 環境にやさしく自然と調和した美しい県土づくり

- (1)美しい景観の保全整備の推進
- (2)環境の保全に資する農業の促進 **環境指標 6項目**

重点⑤ 物質循環 廃棄物等の発生抑制等の推進

- (1)発生抑制等に関する役割や取組の明確化
- (2)不法投棄対策等の推進 **環境指標 6項目**

重点⑥ 生活環境 自然環境 野生鳥獣の保護管理・鳥獣害防止対策の推進

- (1)野生鳥獣の保護管理の推進
- (2)鳥獣害防止対策の強化 **環境指標 2項目**

重点⑦ 地球環境 エネルギーの地産地消による地球温暖化対策の推進

- (1)クリーンエネルギーの導入促進
- (2)省エネルギー対策 **環境指標 3項目**

5 環境の保全と創造のための施策と 6 重点的に取り組む施策との関係

「5 環境の保全と創造のための施策」においては、本計画が対象とする環境の4分野(物質循環、生活環境、自然環境、地球環境)毎の施策及び共通的、基盤的な施策を網羅的に記載しています。

一方、「6 重点的に取り組む施策」では、環境の保全と創造のための施策の中から、特に重点的に取り組む項目を取り上げ、7分野に整理して記載しており、これらの中には、複数の環境分野に関連した項目もあります。

7 計画の推進

① 推進体制

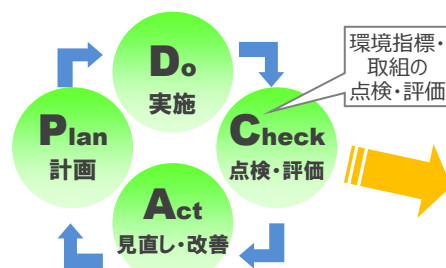
(1) 庁内推進体制
庁内に設置した「さわやか・やまなし環境創造本部」において、部局間の相互の連携を図りながら、計画に基づく施策・事業を総合的に推進します。

(2) 各主体との連携
情報提供等とおして各主体の意識の共有化を図りながら、相互の連携・協働のもと、計画を推進します。

(3) 国等との協力
広域的な環境問題などへの対応については、国や関係機関等との緊密な連携を図りながら、施策・事業を実施します。

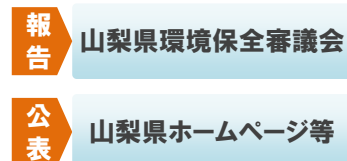
② 計画の進行管理

(1) PDCAサイクルによる進行管理
PDCAサイクルの考え方に基づき、環境指標(数値目標)の点検・評価をとおした進行管理を行います。



(2) 環境の状況の公表

「山梨県環境基本条例」の規定に基づき、毎年度の点検評価の結果を山梨県環境保全審議会へ報告するとともに、県ホームページ等での公表をおして、環境の状況についての県民等の共通理解を図ります。



第2次山梨県



環境基本計画

概要版

1 計画策定の考え方

① 計画策定の趣旨

- 物質的豊かさと利便性の一方で、様々な環境問題が顕在化しており、生活行動や事業活動を「環境」の視点で見直す必要性が高まっている
- 豊かな自然や良好な環境を将来の世代に引き継ぐため、環境の保全と創造に関する施策の目指すべき方向を明らかにする基本的な計画として、山梨県環境基本条例第8条の規定に基づき、本計画を策定する

② 計画の目的

- 健全で恵み豊かな環境の保全と、ゆとりと潤いのある美しい環境の創造に関する県の各種施策を、より有機的な連携のもとに総合的かつ計画的に推進する
- 県民、民間団体、事業者、市町村、県などの各主体が、目標を共有し、公平な役割分担のもと、自発的かつ積極的に環境の保全と創造に取り組むよう方向づける

③ 計画の性格・他計画等との関係

- 本県の県政運営の基本指針「第二期チャレンジ山梨行動計画」を環境面から推進するもの
- 環境保全関連の個別計画等は、本計画の方向性に沿って策定・推進する

④ 計画の対象



⑤ 計画の期間

目標年次:

平成35(2023)年度

(環境指標(数値目標)等は5年を目途に見直し)

⑥ 計画の構成

全7章から構成(1~7)

2 環境に関する状況

① 環境を取り巻く状況

- 社会的背景
- 環境に関する国内外の情勢

② 本県の基本特性

- 地勢
- 気候・気象
- 人口・世帯数
- 産業
- 県民性

③ 本県の環境の現状

- 生活環境
- 自然環境
- 地球環境

④ これまでの成果・今後の課題

- 現在の環境基本計画の進捗状況
- 県民の環境に関する意識、ニーズの変化
- これまでの成果・今後の課題

- 環境基本計画の進捗(平成24年度末実績)は、全56項目の環境指標の内、46項目(82.1%)が「達成」「改善」、9項目(16.1%)が「横ばい」「改善していない」
- 県民の環境に関する満足度は、自然環境、生活環境については向上しているが、人文環境(景観、史跡、文化財等)は横ばい傾向
- 県民の環境に関し行政に求めるニーズは、生活環境や自然環境の整備、環境教育・学習、廃棄物対策が上位

山梨県森林環境部森林環境総務課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel: 055-223-1634 Fax: 055-223-1636

E-mail: sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp

(H26.3現在)

3 計画の基本目標・目指すべき将来像

① 計画の基本目標

県民の環で守り、創り、未来へ繋げる豊かな環境

県民総参加による連携（環）により、本県の豊かな環境を保全（守り）、創造（創り）し、未来へ繋げていくことを目指します。

② 4つの目指すべき将来像

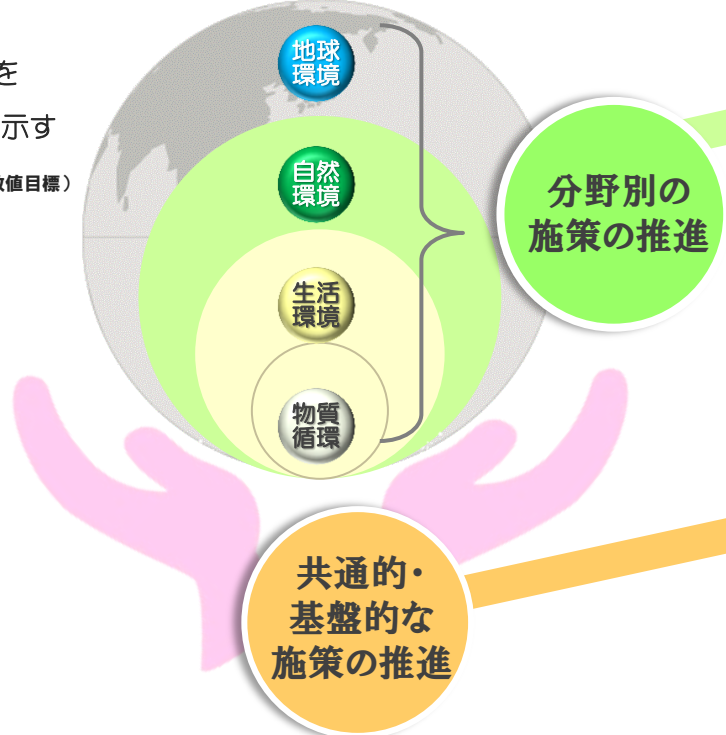
- 物質循環** 環境負荷の少ない循環型の地域社会
- 生活環境** 安全・安心で快適な生活環境
- 自然環境** 生物多様性に富んだ自然共生社会
- 地球環境** 地球環境の保全に貢献する地域社会

4 県民・民間団体・事業者・市町村・県の役割

- ① 県民** ○日常生活に伴う環境への負荷の低減 ○地域での環境活動への参加 等
- ② 民間団体** ○専門的な知識やノウハウを生かして幅広い活動を行うこと ○他の主体との連携、他団体との協働・ネットワーク化などを進めること 等
- ③ 事業者** ○事業活動に伴う公害の防止 ○事業活動の各段階における環境への負荷の低減 ○企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)の考え方に基づく地域の環境保全活動等への協力 等
- ④ 市町村** ○地域の自然的・社会的条件に応じた環境の保全及び創造の取り組み ○地域住民の環境意識の向上、環境活動の促進のため、環境教育等の普及啓発を推進 ○市町村自らの事業活動による環境への負荷の低減 等
- ⑤ 県** ○本計画の目標達成に向けた施策の総合的、計画的な推進 ○事業者、消費者としての環境への負荷の低減 ○各主体との連携による施策の推進、各主体への支援による自主的な取り組みの促進 等

5 環境の保全と創造のための施策の展開

基本的な施策として**6分野(24項目)**を定め、現状と課題を整理し施策の方向を示すとともに、**46項目(再掲含む)の環境指標(数値目標)**を設定します。



1 環境負荷の少ない循環型の地域社会づくり

(1)生活様式等の転換の促進
(2)資源の循環的な利用の促進
(3)廃棄物の適正処理の推進

環境指標 6項目

(環境指標例)一般廃棄物総排出量※1

328千t (H20) → 293千t (H27)

※1 第2次山梨県廃棄物総合計画(H23~27)において目標を設定した項目

2 安全・安心で快適な生活環境づくり

(1)大気汚染の防止
(2)水質の保全
(3)化学物質による環境汚染の防止
(4)騒音・振動・悪臭・地盤沈下・土壌汚染等の防止
(5)放射性物質の監視
(6)魅力ある景観づくり

環境指標 15項目

(環境指標例)エコドライブ宣言車両率

20.1% (H24) → 22% (H30)

3 生物多様性に富んだ自然共生社会づくり

(1)多様な自然環境の保全
(2)野生動植物の保護と適正な管理の推進
(3)自然公園等の管理
(4)自然とのふれあいの増進
(5)環境影響評価制度の実施等

環境指標 8項目

(環境指標例)ニホンジカの推定生息数※2

38,011頭 (H24) → 4,700頭 (H28)

※2 第2期山梨県特定鳥獣(ニホンジカ)保護管理計画(H24~28)において目標を設定した項目

4 地球環境の保全に貢献する地域社会づくり

(1)地球温暖化の防止
(2)クリーンエネルギーの導入促進
(3)オゾン層の保護対策の推進

環境指標 6項目

(環境指標例)クリーンエネルギー導入出力※3

4.5万kW (H23) → 9万kW (H27)

※3 やまなしエネルギー地産地消推進戦略(H25~2050年,短期目標:H27)において目標を設定した項目

5 持続可能な社会の構築に向けた地域づくり・人づくり

(1)多様な環境教育・環境学習の推進
(2)人材の育成・活用
(3)環境に関する活動の展開
(4)協働取組の促進

環境指標 8項目

(環境指標例)森林ボランティア団体数※4

73団体 (H22) → 100団体 (H33)

※4 やまなし森林・林業再生ビジョン(H24~33)において目標を設定した項目

6 環境の保全と創造のための基盤づくり

(1)環境情報の総合的な収集・提供体制の確立
(2)環境モニタリング・環境科学研究の推進
(3)国際協力の推進

環境指標 3項目

(環境指標例)やまなしの環境アクセス数

9,146件 (H24) → 12,000件 (H30)